

認知症になっても自分らしく暮らせるまちづくり・ひとづくり・つながりづくり…27 稲田秀樹

昨年の9月21日、レンガ造りの神奈川県庁舎がオレンジ色にライトアップされた。イベントでは「ヒデ2」のハートフルライブが行なわれ、その様子はテレビ神奈川でも放送された。しかしその後、神奈川県庁舎の改修工事の予定がありライトアップができないとわかり、翌年のイベント実施方法について早くから担当者と意見を交すことになった。

6月18日、かながわ県民センターの会議室に神奈川県内の様々な地域の医療介護福祉関係者や介護家族、市民らが集まり、認知症の人と家族の会神奈川県支部代表の杉山孝博医師を代表として世界アルツハイマーデー普及啓発イベント実行委員会(通称チームオレンジ9.21)が立ち上がった。メンバーは神奈川県内各地から医師、看護師、社会福祉士、作業療法士、ケアマネジャー、行政書士、介護家族、市民など認知症支援のエキスパートが集った。普段から新しい認知症の普及啓発のあり方を考え実践している顔が並んだ。会議の席上、活発な意見交換や提案が行なわれたが、実行委員の誰もが多忙すぎて、第2回の会議を開くめどが立たないことが予想された。そこでチームオレンジ9.21では、対面で会議を開かなくてもSNSで情報を共有できるようウェブ会議の規定を設け、フェイスブックに付属するメッセージアプリ上で情報を共有した。重要な決議事項などはメッセージアプリの「いいね」ボタンで決裁をとれるようにした。

世界アルツハイマーデーの直前の9月19日に逗子市の実行委員の服部誠さんから連絡をもらった。RUN 伴+三浦半島の有志でライトアップポイントや神奈川県庁を走りたいという要望だった。さっそく神奈川県庁の担当者に連絡を取ると、すぐにOKが出た。アルツハイマーデー当日は冷たい雨が降っていた。オレンジのTシャツに身を包んだRUN 伴+三浦半島有志10人はイベント会場を出発するとまず神奈川県庁へ向かった。神奈川県庁では川名勝義福祉部長が出迎えてタスキにサインをした。そこから10名は山下公園を走り中華街で肉まんを頬張りながら今年のライトアップポイントであるコスモクロック21(大観覧車)を目差した。



フェイスブックのオレンジフレーム

もう一つ、今回のチームオレンジ9.21の成果の一つを紹介したい。相模原市の実行委員の井戸和宏さんから思いもよらない企画が提起された。この企画は神奈川県にとどまらず、その後日本全国を駆け巡ることになる。フェイスブックのプロフィール画像の背景をアルツハイマーデーの前夜だけオレンジ色にするというものだった。フェイスブックのフレーム機能を活用したこのアイデアは爆発的に拡散し、オレンジのプロフィール画像は瞬く間に日本中に広まった。

神奈川県アルツハイマーデーイベントの当日は認知症の本人を含むグループによるハートフルライブが行われた。ライブに参加した夫婦デュオ「ひろし&き一坊」の高井裕さんは病気の進行とともに感情の起伏が大きくなっていて、妻の君子さんも私も不安を感じていた。しかし一番不安だったのは本人だったかもしれない。ギターを爪弾きながら低く伸びやかな歌声を響かせる裕さんに会場を埋めた人々からたくさんの拍手が送られた。演奏を終えた彼の元に駆け寄せた神奈川県高齢福祉課の板橋白雪課長と握手を交わしたとき、裕さんは目に涙を浮かべていた。「ひろし&き一坊」はその翌日も地元のイベントで歌い、喝采を浴びたと聞く。

コスモクロック21と横浜開港記念館がオレンジ色に輝き始めた頃「ヒデ2」のトーク&ライブが始まった。近藤英男さんは曲の合間に9年前自身が診断を受けたときや、現在の思いを語った。漫才コンビのようなダジャレや突っ込みを交えながら。この日の神奈川県内のさまざまな地域でアルツハイマーデーにちなんだイベントが行われ、オレンジ色をした心の灯りがともされた。毎年毎年行われるこの行事が、認知症であってもなくても、地域に暮らす人々への心の灯明になれば良いと私は思っている。



素敵な演奏を披露する高井さん夫妻



RUN 伴+三浦半島有志による9.21 RUN

オレンジカフェ情報・・・市内のオレンジカフェが6カ所

- 11月未定「今泉台オレンジカフェ」TEL0467-40-4210
- 11月未定「由比ヶ浜オレンジカフェ」TEL0467-39-6087
- 10月21日「小袋谷オレンジカフェ」TEL0467-53-7025



- 10月27日(土)「本人カフェ」(大船)0467-47-6685
- 11月18日(日)「オレンジカフェだんだん」(西鎌倉) TEL0467-39-1525
- 10月21日(日)「梶原山オレンジカフェ」TEL0467-46-8233

位置

- 10月27日(土) 本人カフェ 13:00~17:00 大船カフェ茶ら貸しスペース
- 11月4日(日) かまくら散歩 13:30~15:30 大町寺社巡り
- 11月10日(土) DKリーグ神奈川認知症ソフトボール大会 藤沢市葛原スポーツ広場
- 11月18日(日) 若年性認知症ほっとサロン 14:30~16:30 ギャラリー一輪松

★入会ご希望の方...TEL0467-47-6685、FAX0467-39-5490

- 入会申込書をHPよりダウンロード、FAXのうえ年会費をお振り込みください
 - 1. 個人正会員 3000円
 - 2. 個人賛助会員 2000円(一口以上)
 - 3. 団体賛助会員 2000円(一口以上)
- 郵便振込口座 00240-8-140587 口座名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク



かまくら認知症ネットワーク

- 会報42号
- 2018年9月1日発行
- 編集発行人 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク 〒247-0053 鎌倉市今泉台4-11-2
- TEL0467-47-6685
- HP http://kamakuraninchishou.com/
- 郵便振替 00240-8-140587
- 編集責任者 稲田秀樹



アルツハイマー月間に「認知症になっても安心して暮らせる社会を創ろう!鎌倉プロジェクト」が行なわれました!

9月21日(金)の世界アルツハイマーデーを中心に、大船観音のオレンジライトアップなど「認知症になっても安心して暮らせる社会を創ろう!鎌倉プロジェクト」として、市内外31の関係機関が連携協力して様々な認知症啓発の取り組みが行なわれました。

啓発ティッシュ配り

9月21日の前後の3日間、「アルツハイマーデーに大船観音がオレンジ色にライトアップされま〜す」と声を掛けながら大船駅前に認知症本人、家族、関係者が集まり、啓発ティッシュを配布しました。参加者の中には鎌倉学園インターアクト部の中高生も。若い人のがんばりで3日間で1000ケのティッシュを配り終えることができました。

認知症サポーター養成講座

9月23日(日)に鎌倉芸術館で認知症サポーター養成講座が行なわれました。当会の稲田代表が講師となり、事例を紹介しながら「高齢化が進み、認知症になることを不安に思っている市民が多いと思うが、認知症になっても何もわからなくなるわけではない」こと、初期のうちにはできることを続けることが進行防止に役立つこと、家にこもらず外へ出て友人らと交流することが大切と語りました。参加者は21名でした。

認知症にやさしいブックコーナー

認知症の不安や偏見を少しでも減らそうという取り組みが「くまざわ書店大船店」で行なわれています。ノンフィク

ションの棚の一部に認知症の本人らの著書を並べたものです。書籍と一緒に置かれた著者の手書きのポップで直接著者の言葉に触れることもできます。「認知症と診断されても支えがあれば前向きに生きられる」書棚からあふれてくるそんなメッセージが伝わってくるようです。

認知症の人のアート・クラフト展

今泉台の「ケアサロンさくら」「ワーキングデイわかば」の利用者の作品展が9月21日(金)から23日(日)まで行なわれました。会場には額装された作品が14点と編み物や子ロバのストラップ、陶芸作品などの小物も販売されていました。

RUN 伴(鎌倉)ゴールイベント

9月22日(土)由比ガ浜の特養鎌倉静養館にて、RUN 伴のゴールイベントが行なわれました。午後4時前、三浦半島を20km走って、認知症当事者の名前が書かれたタスキを背負ったランナーが到着、ラストは「ヒデ2」のライブで盛り上がりました。来年在しみな9.21プロジェクトとなりました。

大船観音オレンジライトアップ最終日

9月27日(木)に大船観音の見える通路を通りかかると数人の人がオレンジ色に照らされた観音様を見上げていました。ティッシュやチラシを配布した効果でしょうか。認知症になっても安心な町、偏見のない町へ、小さな一歩を踏み出した1か月でした。(IN)

「本人カフェで様々な交流が行なわれました」大船 カフェ茶るら貸スペース

9月22日(土) 13:00~16:00 大船にあるcafé茶るら隣の貸スペースで「本人カフェ」が開催され、本人5名、家族スタッフ等10名の参加がありました。

この日は同じ会場で、今泉台のケアサロンさくらとワーキングデイわかばのふたつのデイサービスで制作された絵画作品の作品展、認知症の人のアート展[Sakura Wakava 展]が開催されていて、壁にたくさんの絵画が展示されていて、とても良い雰囲気でした。

アート展を見に訪れた方や、本人カフェ終了後予定されている大船観音ライトアップを告知するティッシュ配り応援のため新たに加わった本人・スタッフの方も一緒にテーブルについて楽しくおしゃべりをしていました。



途中、作品を描いた認知症のご本人らも会場に来られたところで、あらためて皆が自己紹介をしました。ワーキングデイわかばやケアサロンさくらの利用者や家族もいて、初対面の方も多かったのですが和やかな雰囲気でした。

その後、稲田代表から絵画作品の制作過程の説明を受けながら作品制作にまつわるエピソード等を紹介して頂きました。お陰でより一層作品鑑賞を楽しめたのではないかと思います。絵をはじめて描いたという当事者の方もおり、また自分の配偶者や親の才能を知ってビックリされているご家族もいて、この様な活動がもっと普及すると、ご本人も楽しみ、ご家族も感動して良いと感心しました。

本人カフェを終えると大船駅へ向かい、アルツハイマー月間の啓発ティッシュを配りました。(KYT)



「世界アルツハイマーデーかながわイベント」そごう横浜店前新都市プラザ

9月21日(金) そごう横浜店前新都市プラザで、平成30年度世界アルツハイマーデーかながわイベントが行なわれ、横浜みなとみらいのコスモクロック、横浜市開港記念会館、大船観音などが、認知症を応援するシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされました。このイベントは神奈川県が主催し、世界アルツハイマーデー普及啓発実行委員会(チームオレンジ9.21)の共催で行なわれました。

チームオレンジ9.21は、神奈川県内の県内各地の認知症支援にたずさわる25名の医療介護福祉関係者、家族、市民で構成され、神奈川県主催イベントの企画進行演出のほか、県内各地域でのイベントを推進する役割を担いました。

「痴呆」から「認知症」という言葉の言い換えが行なわれて久しいですが、この病気をめぐる不安や偏見はかえって市民に根付いてしまったと感じます。認知症になったら大変!という感覚から逃れるように認知

症予防策に飛びつく人がいます。心身ともに健康を持続することは大切ですが、背景には「認知症」という大きな不安と偏見が見え隠れしていると感じます。

この日オレンジライトアップを実施したのは全国48箇所、神奈川県にオレンジライトアップを提案したチームオレンジ9.21の実行委員長である杉山孝博医師(認知症の人と家族の会神奈川県支部代表、川崎幸クリニック院長)によると、シンボリックなイベントが認知症の正しい理解を広め、偏見を払拭するきっかけになる重要な意味があるということです。

今回の神奈川県普及啓発イベントでは、フェイスブックのオレンジフレームの提案と普及、認知症の人によるハートフルライブ、コグニサイズ体験、各地の取り組み紹介、ポスター展示、RUN 伴+三浦半島有志がライトアップポイントを走る9.21ランなどを通じて、認知症になっても大丈夫な地域を創ろうというアピールを行なうことができました。(IN)



地域の動き 「認知症にやさしい本棚」鎌倉市図書館

9月21日~28日まで鎌倉市内の図書館で「認知症にやさしい本棚」が設けられました。これは世界アルツハイマーデーの取り組みとして実施されました。

今回、お邪魔したのは鎌倉市中央図書館です。認知症の疾患の理解と認知症のご本人が書かれた本などが多く展示されています。認知症の理解が深められる書籍が多く置かれています。誰もが認知症を伴う可能性があります。その病気と、その方のこころの世界を理解する事で、適切な支援ができるのだと思います。

鎌倉市中央図書館では上記の書籍を手にとってみられる地域の方が多くいらっしゃるの事です。認

知症の疾患については多数書籍が出版されている現在、関心度が高くなってきている事を感じます。認知症の状態になっても慣れ親しんだ地域に住み続けられる町、安心して暮らせる町、互助の精神で皆が協力して暮らせる町がこれからは必要とされています。

認知症になっても、その人らしく役割が持てる機会が必要である事、残された力が引き出され、張りのある生活が営めるようになれば、認知症のやさしい本棚を見ていて思いました。(ST)



地域の動き 「第17回 かまくら磨き 行ないました!」大船駅2階ルミネ側通路

9月11日(火) 16:00~17:30まで、大船観音も見渡せる広場のある大船駅東口改札方面からモノレールに至る通路支柱のタイルを水拭きしました。当日は、平日の夕方ということもあり、ご本人は1名しか参加出来ませんでした。鎌倉学園インターアクト部から15名も参加があり総勢22名になりました。若い人達の活躍で18本の支柱を予定通りの時間に綺麗にすることが出来ました。

最近、鎌倉駅地下通路と若宮大路横須賀線ガード下タイルの清掃がかまくら磨きの定番になっていましたが、今回は世界アルツハイマー月間のプロジェクトの一環として大船観音が9月21日から一週間オ

レンジ色にライトアップされることになり、その広報活動として大船駅東口周辺でティッシュ、チラシ配りも行われることになっていて、これと併せてかまくら磨きも計画されました。大船駅東口は、JR、ルミネ、モノレール、鎌倉市の管轄区域が複雑に入り組んでいます。鎌倉を美しくする会には面倒な事前手順を手際よく処理して頂き、大変お世話になりました。(KWT)



地域の動き 「若年性認知症ほっとサロン」鎌倉市御成町 ギャラリー檜松

9月16日(日)、鎌倉市御成町にあるギャラリー檜松にて「若年性認知症ほっとサロン」が行なわれ、若年性認知症の本人家族5名、スタッフ5名の参加がありました。

サロンでは初めに鍼灸マッサージ師によるタッチケア指導がありました。ご夫婦でペアになって互いの手に触れリラックスしてからサロンが始まりました。タッチケアは相手に優しく触れたりさすったりすることで愛情が高まる効果があるそうです。

続いて参加者の近況報告を行い、本人さんから近況を話してもらいました。家族にヒントを求めたりしながら、最近あった出来事を報告しあいました。9月のサロンでは世界アルツハイマーデーのイベントやRUN 伴などのイベントに参加した際の様子も聞きました。

この日はスタッフも近況報告を行い、認知症認定看護師のスタッフから専門職向けの認知症講座についてや、デイサービスの生活相談員からは施設内研修の話など、それぞれ仕事上のエピソードを話してもらいました。

ギャラリー檜松はゆったりとしていて、間伐材の檜や松を活用してほんのりと木の香りが漂ってきます。一息つきたいとき、誰かと話したいとき、お気軽にお立ち寄りください。(IN)

